

《担当者名》竹生礼子 [take-r@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

地域看護学と地域看護実践における対象者への健康の支援のあり方を理解するために、地域看護学に関する理論書や、近年の主要な国内外の研究論文の講読を行う。

【学修目標】

- 1) 地域看護学に関する基本的な理論を用いて地域の健康に関する現象を説明できる。
- 2) 地域に暮らす人々の健康感、健康状態、保健行動をとらえるための手法を活用できる。
- 3) 研究的に介入を行う際のアプローチの手法を説明できる。
- 4) 地域に暮らす人々と看護専門職者の相互作用とそのアウトカムを客観的に把握し分析する方法を活用できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 4	地域に暮らす人々の健康をとらえるための手法	1. 地域に暮らす人々の健康に関する研究論文レビュー 2. 主観的健康としての健康感に関する研究動向 3. 客観的健康状態の把握に関する研究動向 4. 保健行動をとらえるための手法	竹生
5) 7	研究的に介入を行う際のアプローチの手法	1. 地域に暮らす人々への研究的介入 2. 地域におけるアクションリサーチの意義と方法 3. 地域におけるアプローチの手法	竹生
8) 12	地域に暮らす人々と看護専門職者の相互作用	1. 地域に暮らす人々の健康課題 2. 地域における看護専門職者の介入の研究動向 3. 地域に暮らす人々と看護専門職の相互作用のとらえ方と相互作用を分析する方法	竹生
13) 15	ヘルスプロモーションに関連する概念の実証方法	1. ヘルスプロモーション、および関連する概念 2. ヘルスプロモーションの概念を用いた地域看護学的介入研究 3. 地域看護学的介入の実証方法	竹生

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(30%)、準備・参加状況(30%)、課題レポート(40%)を総合的に評価する。

【教科書】

Public Health Nursing誌、及び適宜紹介する文献

【参考書】

Public Health Nursing誌、及び適宜紹介する文献

【学修の準備】

- 1) 地域・在宅看護学に関する理論を理解（検索，収集，読解）し，事前にポイントをまとめ資料を作成する。
- 2) 自身の研究テーマに関連する近年の主要な国内外の研究論文を理解（検索，収集，読解）し，事前にポイントをまとめ資料を作成する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。